

◇1年生 DIG (災害図上訓練)

岐阜大学 地域減災研究センターの村岡治道先生から、DIG 災害図上訓練のお話をお聞きました。DIGとは「D=災害 I=想像 G=ゲーム」の略で、地図の上で災害の場面をイメージして訓練を行うことだそうです。



川島町は、水害が非常に心配な地域です。生徒達は、まず始めに地域ごとに分かれ、登下校路の危険な場所(すぐに水たまりができるような場所、強風で木の枝が飛んでくるような場所)を考えました。

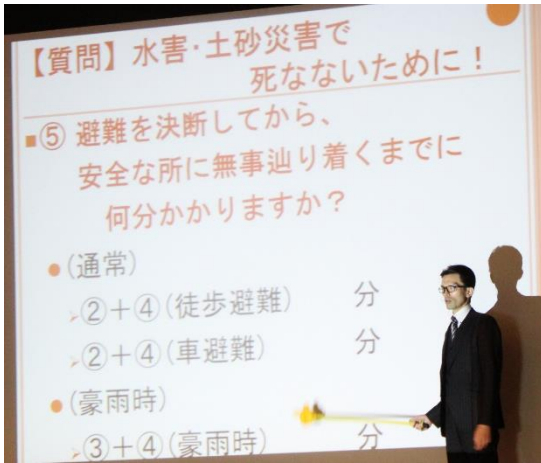


その後、過去の大雨や台風の時の TV 映像を見て、その危険性について学びました。

大雨の時など、道の上に水がたまってくると、どこが道なのか分からなくなってしまいます。また、マンホールが開いてしまっても、見えないためその上を車で走ったり、歩いたりする危険があります。マンホールが開いていると、水圧で吸い込まれる危険性があるそうです。



避難をし始める時間ではなく、「避難完了をいつにするか」を意識して、避難することが大切だと教えていただきました。



最後は、川島地区のハザードマップについてです。

ハザードマップでは、川島地区は、真っ赤に示されています。生徒達は、そういう状況を踏まえ、日常から危険な場所を把握して、災害時に備えて生活していく大切さを実感することができました。

